

2) 側溝の不同沈下への早期対応

側溝が一部不同沈下していた場合、当該部分の補修等の対策を行うこと。

【活動のねらい】

側溝が不同沈下していた場合は、補修等の対策を行うことにより、排水機能が維持されるように保全管理することが大切です。

【活動の内容】

2-1) 不同沈下部分の補修作業

道路側溝等が不同沈下している場合には、不同沈下部分の側溝敷きに土を充填・締め固め等の対策を実施し、不同沈下部分を補修します。

2-2) 補修作業

できるだけ早期に実施します。

① 準備作業

既設側溝の撤去に当たっては作業量に応じてスコップや小型バックホウを使い分けて側溝の両側の土を掘削します。既設側溝を再利用する場合は、バックホウのバケットで側溝を傷つけることがないように慎重に掘削します。

バール等の金具やクレーン機能付きバックホウ等の重機を使用しながら、側溝を1本ずつ、慎重に撤去します。撤去した側溝の接続部分にモルタルやゴム等の目地材が付着している場合は、撤去し、きれいに清掃しておきます。

② 補修作業

側溝を設置するための基礎をつくります。地盤に所定の厚さと高さになるよう砕石等の良質な土を敷き均して、小型転圧機等を使用して十分に締め固めます。

基礎部ができたら側溝を布設します。調整用の敷きモルタル（例：空練り 1:3）により一定勾配となるように側溝を据え付けます。側溝の重量に応じて、人力又はクレーン機能付きバックホウなどを用いて側溝を低い側から所定の位置に据え付けます。

側溝のジョイント部分が十分に清掃されているのを確認した後、モルタルを詰めるなどして隙間を無くし水漏れがない構造とします。

また、撤去や再設置の際に側溝に小さな欠損が生じた場合は、欠損部分をきれいに清掃し、接着剤（プライマー）を十分に塗布した後にモルタルなどを埋めて補修します。

側溝の設置後、側溝の両側の土を埋め戻します。埋め戻し時、適宜、小型転圧機等を使用して埋め戻し土を締め固めます。埋め戻す際は、片側だけを埋め戻しして側溝に偏圧がかからないように、両側を均等に埋め戻します。

③ 補修後の管理

設置した側溝に水を流して、ジョイント部分からの水漏れがないか、側溝底面に局所的に土砂が溜まらないか、設置高さのずれによる溢水等の不具合が無いかを目視にて確認します。

側溝底面の土が軟弱であったり、基礎部の転圧が不十分であったりすると側溝に不陸が生じることがあります。施工数日後に、側溝に不陸が生じていないか、又は不陸の発生に伴いひび割れが発生していないか等を目視にて確認します。

【配慮事項】

- ・側溝の不同沈下が著しく、改修が必要な場合には、専門家に相談します。